

6月11日(火)

清い心に向かって

聖書朗読 詩編 51:1~10

心のきよい者は幸いです。その人は神を見るからです。 マタイ 5:8

清い心を持って神様を見ようと熱望しようとしなない人は誰でしょうか？ 心に清さを取り込む最初の段階はそれを熱望——求めることです。「神が私たちを召されたのは、汚れを行なわせるためではなく、聖潔を得させるためです（Iテサロニケ 4:7）。

神様に助けていただくように祈りましょう。自分たちの傾向や能力に任せていては、清い心を得ることはできません。私たちは御霊の実を結ぶために神様の助けが必要なのです（ガラテヤ 5:22-23）。ダビデ王は神様にこう祈りました「神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私のうちに新しくしてください。」（詩編 51:10）。ダビデには欠点や失敗があったにもかかわらず、神様はのちにダビデのことを「わたしの心にかなった者」と呼ばれました（使徒 13:22）

神様は私たちが選択の自由を持つように造られました。私たちは神様の思いか自分の望みのどちらかを選ぶことができます。神様の思いに従うことを選択することは、私たちの心を力づけ、また清くします。

讃美歌 II 173 (3番)

祈り 愛する神様であるお父様、私たちが清い心に向かって成長できるように助けてください。私たちは、聖霊を通して与えられるあなたの助けと祝福がなければ清い心を持つことができないと認めます。私たちを導き、力を与えてください、ああ、主よ。

イエス様の御名により。アーメン。

ビル・ヒメネス
カリフォルニア州 サン・フランシスコ

6月12日(水)

神様のやり方で衝突を切り抜ける

聖書朗読 詩篇 71:1~8

わが神よ。私を悪者の手から助け出してください。不正をする者や残虐な者の手からも。 詩篇 71:4

詩編作者のダビデはとても率直に、自らの敵をねじ曲がっていて、邪悪で、冷酷だと表現しています。私たちはみんなとうまくやろうと言う時、正直ではいられないでしょう。人間関係の中に衝突や冷酷さが入ってきたとき、私たちはどうすればいいのでしょうか。

最初に、ダビデのように、私たちは率直になる必要があります。真の祈りは私たちにそれをさせてくれます。パウロが書いているようにそれは無駄なことではありません。「あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。愛する人たち。自分で復讐してはいけません。神の怒りに任せなさい。…」（ローマ 12:18-19）。パウロの教えはダビデと深く共鳴しています。「神の怒りに任せる」という部分は、私たちがヤコブとヨハネに倣って、私たちにとって都合の悪い人々に火が降り注ぐように祈るべきだということではなく（ルカ 9:54-55）、むしろ私たちの衝突を神様に差し出すということです。

私たちが自分の内面的な衝突について祈るとき、神様は私たちの岩となり砦となってくれます（3節）。そのような安全な場所で、自分が他人を許すように自分たちを赦して下さるように神様をお願いしながら、私たちは主の祈りの厳しい部分をよりよく祈ることができるのです。

讃美歌 280

祈り 親愛なる主よ、私たちは他人と衝突があったときにあなたに対して率直でありたいと願っています。私たちは衝突を乗り越えるためにあなたの助けが必要です。私たちが赦す心を持ちたいと願っています。

イエス様の御名により。アーメン。

ロジャー・チャップマン
フロリダ州 ボカ・ラトン

6月13日(木)

父の愛

聖書朗読 詩篇 61

私たちが神の子どもと呼ばれるために、...父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょうか。
Iヨハネ 3:1

彼がエルサレム周辺で見たに違いない光景は、なんといいものだったでしょう！美形でカリスマ性のある王子、アブシャロムは、前を走る50人の男たちと共に、立派な馬と戦車で街中を駆け巡りました。現代的な政治家であるアブシャロムは、街の門に立ち、抱擁と口づけをもってイスラエル人にあいさつしました。アブシャロムが人々から十分に気に入られるようになると、彼はイスラエル王国を自らの物とするという決断のゆえに、父であるダビデ王をけなしました。

ダビデは街から逃れ、追放者としての日々の中に、詩篇61編を書いたと思われる。その中で彼は神様に助けを求めています。アブシャロムが悲劇的な死を迎えると、彼の反逆がとてつもなく痛ましいことであったにも関わらず、ダビデは打ちのめされて嘆きました「アブシャロム、アブシャロム、ああ、わが子、アブシャロム。」ダビデは彼を非常に愛していたのです。

クリスチャンは「神の子ども」と呼ばれる名誉を持っています。神様の子どもとして、私たちの天のお父様は私たちに正しく敬虔であり、神様に背を向けて反逆しないことを望んでおられます。神様がどれほど私たちが愛してくださっているかを覚えましょう——神様はイエス様を私たちの罪のために死ぬように送られたのです。神様の子どもとして、私たちは神様の命令に従うことで天のお父様の聖なる御名に栄光と栄誉を帰すようにしましょう。

讚美歌 461

祈り 天のお父様、あなたの子どものとと呼ばれる名誉をありがとうございます。私たちが世の誘惑に流されてしまわないように力をお与えください。イエス様の御名により。アーメン。

ジェイン・ポー・マッシー
テキサス州 ヒューストン

6月14日(金)

私はただ羊になりたい

聖書朗読 詩篇 95

主は、私たちの神。私たちは、その牧場の民、その御手の羊である。 詩篇 95:7

羊飼いと羊のたとえは、聖書の中に何度も何度も見られます。羊飼いは長く、寂しい時間を羊とともに孤独に過ごします。彼らの間にはペットよりも強い絆があります。名前を使って親密に理解し合う、その関係性はむしろ子どもに対するようです。彼はそれぞれの羊に対してただ何を期待するかを知っています。

- 彼らのうち誰が愛情をもってついてくるかということ。
- 誰が独立心があり、さまよい出でて迷子になったり罠にかかったりするかということ。
- 誰が身体的に助けを必要としているか、例えば、生まれる子羊がいるか、刈る毛があるか、治すべき病気があるか。
- 誰が羊飼いのところに、耳を搔いたりなでたりしてもらうためにやってくるか。
- 誰が離れていくか。

神様のご自身の民との関わり方は、神様の変わらない忠実さを示しています。何度も何度も、人間は神様から離れ——時にはしつけが必要なほどに——ですが、しかしいつも忠実に見守られ愛されています。神様は助け、治し、与え続けました——アダムからイエス様の使命、そして私たちの日々までも。私たちが離反したり従うことに失敗したりするそのすべての中にあっても、私たちは神様の御手の中にいる羊なのです。

聖歌 500

祈り 忠実な羊飼いや、あなたが私たちをご自身の羊として気にかけてくださっていると知ることは、なんとわくわくし、しかし気を引き締めさせられることでしょうか。私が喜んで服従し、ついていくことができるように助けてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ノーマ・プリビット
カリフォルニア州 サウザンド・オークス

6月15日(土)

私の名前は土

聖書朗読 詩篇 103:13~18

父がその子をあわれむように、主は、ご自分を恐れる者をあわれまれる。主は、私たちの成り立ちを知り、私たちがちりにすぎないことを心に留めておられる。

詩篇 103 : 13~14

「だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。」(マタイ 5 : 48)。「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることができません。」(ルカ 15 : 27)。これらのような聖書の言葉は私を落ち着かなくさせます。私にとって、これほどに高い期待に応えられることは想像もつきません。

私はなんとごちゃまぜのバッグなのでしょう！ 私は良い人間になりたいのに、毎日自己中心的に過ごしてしまいます。私は本当に神様を喜ばせたいのに、何度も何度も誘惑に陥ってしまいます。

私は自分が神様に失望されたのではないかと感ずる時に、詩篇 103 篇を読むのが大好きです。「主は、私たちの成り立ちを知り、私たちがちりにすぎないことを心に留めておられる。」(14節)。土は低い物であり、私たちがなんとか乗り越えたいと思う物です。神様は私たちの人間性を知っておられます。なぜなら神様が私たちを買い取ってくださったからです！

神様が私たちが何者であるか知ってくださっているという認識は、前述の高い期待によるプレッシャーを取り除いてくれます。私は神様の恵みに感謝し、そのために神様を喜ばせようと試みたいという思いを持ちますが、自分が失敗するであろうことを謙虚に知っています。私の失敗は、しかしながら、神様を驚かせたり失望させたりはしません。神様は私の名前が土であることを覚えておられるのです。

讃美歌 II 161番

祈り 親愛なるお父様、私たちの自己中心的な生き方、あなたを貶めてしまう選択、世俗的な面をお赦しください。私たちがちりであることを覚え、イエス様の犠牲によって買い取ってくださったことを感謝します。

イエス様の御名により。アーメン。

リサ・ラングフォード
テキサス州 ラボック

6月16日(日)

健康的な喜びに浸る時

聖書朗読 詩篇 104:1~14

主の聖なる名を誇りとせよ。主を慕い求める者の心を喜ばせよ。I 歴代誌 16 : 10

感動的な物語が私たちの心を動かして涙を流させることができるというのは、驚くべきことではないでしょうか。オリンピックのスケート選手が、たった二日前に母親を喪って悲しい思いをしているにもかかわらず、人生で最高の演技をするのを観るように。あるいは辛い障害を持った学生が高校のバスケットボールで決勝点を入れ、それを祝う群衆に担がれてコートから出ていく話を読むように。私は今も目が潤んでしまいます。

あなたが最後に、どうしようもないほど笑ったり、自分自身を声がかかるほどに応援したのはいつでしょうか。私たちは辛い場面で涙を流さず歯を食いしばることがありますが、しかしそこで美しい音楽が私たちの魂を揺るがすと泣いてしまいます。私たちはみんな、抑圧されたストレスを解放するためのポジティブな方法を必要としているのです。

時々、抑えきれない健全な笑い、喜び、涙に浸ることは、健康的なことです。大きな感情は私たちの人生を変える信じられない力を持っています——よくも悪くも。それが、私たちがよく、価値のある感情にだけ浸るようにと忠告される理由です。詩篇作者は私たちに神様を喜ぶように勧めています... 神様の存在を味わうように... 私たち自身が畏れで満たされるように... 神様をほめたたえる、人生を変えるような感情を経験するために。それは魂だけではなく心に、思考に、そして精神的な健康のためにも良いことです。

讃美歌 130

祈り お父様、私たちはあなたをすべての心と存在でほめたたえます。私たちがあなたを祝うことで自分を完全に捨てるという、完全な喜びを知ることができるように、私たちの心に笑いと、涙と驚きをもって触れてください。

イエス様の御名により。アーメン。

マイヤ・セトリーフ・ブース・リー
ステキサス州 ラボック